

事業評価シート

担当課・室長：環境協力室長

事業名	環境協力施策を推進するための枠組みづくり
上位施策名	国際的取組に係る施策
1 事業の概要	<p>開発途上国の環境保全対策は我が国にとっても重要な課題となっており、環境基本計画や政府開発援助に係る中期政策においても位置づけられているとおり、政府開発援助等を通じ、開発途上地域の環境保全を支援していく必要がある。</p> <p>こうした途上国の環境保全支援を促進するため、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アジア・太平洋環境会議（エコ・アジア）</li> <li>日中韓三カ国環境大臣会合</li> <li>環日本海環境協力会議（NEAC）</li> </ul> <p>などの地域的な環境フォーラム（政策対話の場）や 二国間の環境協力に関する協議 等の枠組み作りを推進している。</p>
2 進捗状況	<p>アジア・太平洋環境会議</p> <p>平成3年以来、アジア太平洋地域の環境大臣等が自由に意見交換する場として、環境省が主催し我が国で開催している。平成12年の第9回会合では、40カ国及び17国際機関が参加し、WSSDの成功に向けた地域協力等について議論した。</p> <p>日中韓三カ国環境大臣会合</p> <p>平成11年から三カ国持ち回りで、地域等の環境問題の対話を進め協力を強化するために開催し、共同コミュニケを発表している。平成13年4月には第3回会合を日本で実施し、具体的な協力プロジェクトの形成と推進、気候変動への対応や中国北西部の生態系保全の重要性について討議した。第4回会合は韓国で開催する予定。</p> <p>環日本海環境協力会議</p> <p>北東アジアに位置する日本、韓国、中国、モンゴル、ロシアの5カ国の環境専門家による情報交換・政策対話のための会合。平成4年から毎年開催している。平成12年度は、環境省が支援しつつ、第9回会合を7月にモンゴルのウランバートル市において開催し、森林保護及び植林、水質汚濁と浄化、特別保護区ネットワーク拡大と保護区管理の改善などについて話し合った（参加者5カ国2国際機関、計36名）。</p> <p>二国間の環境協力協定に基づく協力等</p> <p>中国や韓国と環境保護協力協定を結び、その下でプロジェクト（日中間15件、日韓間29件）を進めているほか、環境政策担当者間での政策対話を進めている。</p>
3 評価	<p>様々な地域的な環境政策対話を推進することにより、地域、地球規模の環境問題への取組への共通認識の形成が進んできているとともに、これらの枠組み下で、地域内の国が参加するアジア太平洋長期展望プロジェクト、日中韓共同環境プロジェクトなどの継続的取組が生まれるなど、確実に地域内の環境協力が進展している。また、これらを背景に具体的な地域の環境問題解決への取組(EANET、NOWPAP)も加速されてきている。一方で、地域的な環境問題は解決の糸口への取組が開始されたばかりであり、根本的な問題解決に向けて、このような枠組み作りを今後とも充実・強化する必要がある。</p>
4 予算事項名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨハネスブルグ・サミットに向けた国際的イニシアティブ総合推進費</li> <li>・日中韓三カ国環境大臣会合関係経費</li> <li>・北東アジア環境協力推進費</li> <li>・日中韓環境協力推進費</li> </ul>
5 対応副施策等	